



(第31号) 2010年2月7日発行

理事長あいさつ

「放課後学び場人材バンク」の創設業務を受託して

理事長 高木 義夫

高知県は児童たちが放課後を安全・安心に過ごせる居場所として「放課後子ども教室」・「放課後児童クラブ」の充実を図るために（放課後子どもプラン）、児童の学習支援ができる人材を数多く確保しておくことが必要であるとの考え方から、「放課後学び場人材バンク」を創設することとなり、昨年6月当センターが県教育委員会生涯学習課より人材バンクを創設する業務の委託を受けました。

この業務を受託すると同時に専従者2名を配置し、最初の1ヶ月間は放課後子どもプランについての勉強会をしたり、業務の進め方についての話し合いに費やしました。2ヶ月目からは受託目標は必ずやり遂げようを合い言葉に手探り状態の連続ではありましたが、人材の募集活動を続け、

現時点では年度末までには期待されている人材の確保は何か達成できそうな状況に至っております。これは一重に県教育委員会生涯学習課の皆さんへの支援と家庭教育サポーターの方々の理解と賛同があつてのことだと感謝しております。

ただここで気にかかることを一つ述べさせていただきますと、私どものPR不足もあってのことだとは思いますが現在までのところ当センターが斡旋した人材が放課後子ども教室等の現場で活躍している事例が極めて少ないと感じます。切角登録してくださった方々にすこしでも多く活躍していただけるように「放課後学び場人材バンク」の登録情報を積極的にご活用いただけることを願っております。



KOLEC NEWS
ホームページが
リニューアルしました。
ホームページアドレス
<http://www.kolec.jp>

16ミリ出張映写会



[室戸市・地域文化を育む会]

平成21年11月2日(月)、室戸市佐喜浜中学校に出張しました。

同中学生や佐喜浜小学校児童、地区住民約150名が県所蔵の記録フィルム「昭和南海地震の記録」や盲導犬とマランソングに挑戦する女性を主人公にした映画「心をむすぶ愛のハーネス」を御覧になりました。児童たちは、倒壊した建物や陸に打ち上げられた漁船、地盤沈下で海になった村の映像を真剣な表情で見て、地震や津波の被害に驚き普段から気をつけなければいけないと語っていました。



[春野町弘岡中北防災フェスティバル]

平成21年11月22日(日) 9:00~15:00に春野公民館弘岡中分館で防災フェスティバルが開かれました。

NPO高知県生涯学習支援センターも参加させていただき、当法人が委託管理する県所蔵の16ミリ記録フィルム「昭和南海地震の記録」や「50年前の県民ニュース」の映写をいたしました。春野町の小中学生から大人まで約60名の方が、貴重な記録や懐かしい映像を御覧になり防災意識を高められました。

NPO高知県生涯学習支援センターでは県所有の歴史映像フィルムなどを無償修復いたしております。戦前のものを含め高知県の古い歴史文化を含んだ、この貴重な財産は現在劣化が進む一方です。当法人では、この貴重なフィルムを適切に手入れ・管理し、その文化を後世に伝えていきたいと考えています。

毎月開催の16ミリ映写会の他、映写機・スクリーン・16ミリフィルムを持ち込みましての出張映写会も開催しております。集いの場での楽しみとして、また昭和の歴史勉強の一環としてお役立て下さい。

自治会等においての出張映写会をご希望の方はご希望の日時や会場をご連絡ください。

16ミリフィルム映写会

高知市大原町132番地 教育センター分館南棟2階
TEL 088(833)0022

2月13日(土)13:00~14:30	○ジョン・F・ケネディ就任 ○歌舞伎をみる
2月27日(土)13:00~14:30	○幕末に生きる中岡慎太郎 ○中岡慎太郎生家 他
3月13日(土)13:00~14:30	○土と愛 ○昔の県民ニュース
3月27日(土)13:00~14:30	○幕末に生きる中岡慎太郎 ○ペリー来航



平成21年度 不登校・高校中退者のための進路相談会

平成21年9月26日(土) 午前10時より、高知市大原町132

番地 教育センター分館 大講義室において 「平成21年度

不登校・高校中退者のための進路相談会」が、開催されました。

本年度は講師に甲斐 誉司氏をお迎えし、「子どもひとりひとりの自己実現のためにできること～日常場面でのコーチングを通して～」という演題で講演をしていただきました。その後、11時からの個別相談では、参加者に全ての団体のブースに立ち寄っていただき、様々な情報を得られるようにいたしました。NPO高知県生涯学習支援センターでは、毎年9月に不登校・高校中退者のための進路相談会を開催しております。この会には、不登校・高校中退者の方を、数多く受け入れられている県立・私立高校や専門学校、フリースクール、その他の相談機関や同じ悩みを持たれている保護者の会など多くの団体に参加していただき適切で具体的なアドバイスが受けられるような体制をとっております。



第37回 高知県こども英語弁論大会

平成22年1月17日(日) 午後1時より、高知市大原町132番地 教育センター分館 大講義室において 「第37回 高知県こども英語弁論大会」が、開催されました。

NPO高知県生涯学習支援センターでは、高知県下の子ども達に国際人としての感覚を身につけ、将来国際社会で活躍できる人材を育てる一助ともなればとの趣旨で、国際語である英語の弁論大会を毎年開催しております。

当日は幼児の部12名、小学校低学年の部9名、小学校高学年の部2名の計23名の子ども達の楽しく一生懸命にスピーチをする姿に、大勢の観客の温かい拍手が寄せられました。

学力低迷が懸念される中、楽しく学ぶことにより、充分な学力とコミュニケーション能力を身につけ、理系文系双方に必要な英語で、学力の底上げが期待されると同時に、子ども達が、自身の発表を心から楽しみ、他の友達の発表を熱心に聴く姿に感動しました。

子どもたちは発表後、審査待ちの30分間に16ミリフィルムアニメ『青い目の人形物語』を楽しみました。

第38回大会は平成22年12月開催の予定です。要項は開催日の3ヶ月前よりNPO高知県生涯学習支援センターのホームページで告知いたします。



2009.11.1 第1回 ダンシングギャラクシー高知大会

チャンススポーツダンスクラブ 徳久 穂二・森本 幸恵

平成21年11月1日(日)県教育センター分館の体育館を会場に第1回ダンシングギャラクシー高知競技会が開催されました。

競技会には、県内70組・県外60組の選手が出場し、大変な盛り上がりをみせました。また、車イスダンス・目の不自由な方のデモンストレーションやプロ・アマミックスコンペも行われ、先生方と素敵なかんじを披露して下さいました。優勝者は最後にデモンストレーションを行い、知事賞を頂き大感激をしていました。



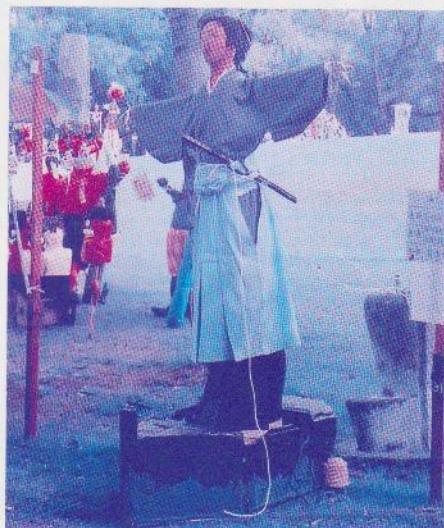
ますます進む高齢化社会の中で心身共に健康で生き生きした日々を送る事の大切さが問われています。

スポーツダンスは年齢や性別に関係なく誰でも気軽に出来るスポーツの一つとして注目されています。私達はこの競技会をステップに生涯学習の一環としてスポーツダンスの普及にさらに努力して生きたいと思います。また、目の不自由な方や車イスダンスの普及にも力を入れ少しでも社会に貢献出来ればと考えています。

かかしコンテストに出品しました♪

平成21年10月17日(土)に土佐山田町鏡野公園で「第19回山田のかかしコンテスト」が開かれ、NPO高知県生涯学習支援センターでは、「龍馬伝」にちなみ坂本龍馬の案山子で参加しました。龍馬本体は困難に負けないイメージから起き上がりこぼしにし、発砲スチロールの船に乗せ、かかしと船が風に揺れこする音で、船がきしむ音を表現、龍馬の袖に通した筒の中には小豆を入れ、波の音を表現しました。

絵画教室の北村先生にお願いして、描いていただいた優しい龍馬の顔の前では、たくさんの来場者の方が、写真を撮っていました。お陰様で、「株式会社やまさき食品賞」と「松尾酒造株式会社賞」の2つの賞を受賞いたしました。



発行 2010年2月7日
NPO高知県生涯学習支援センター(KOLEC)
〒780-8031
高知市大原町132番地(教育センター分館内)
電話 088-833-0022 FAX 088-833-0023
電子メール info@kolec.jp
URL <http://www.kolec.jp>
発行人 理事長 高木義夫
編集 NPO KOLEC編集部/印刷 池田印刷

